

令和元年度 県立阪神昆陽特別支援学校 学校自己評価シート

阪神昆陽の理念
阪神昆陽の両校がともに助け合って生きていくことを実践的に学ぶ機会を設定し、ふれあいを通じた豊かな人間性を育むとともに、社会におけるノーマライゼーションの理念を進展するための礎となる学校をめざす。

学校経営方針
A 生徒の社会的・職業的自立を支援するための、職業教育に重点を置く高等部の特別支援学校である。それぞれの学校が、それぞれの設置趣旨に従って、校訓「日常実践」のもと、一人一人の生徒の「生きる力」、すなわち「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む。
B 人権尊重の理念に対する理解を深め、生命の尊厳を基盤に、自他に対する肯定的な態度と共生社会の実現に主体的に取り組む実践力を育成する。
C 両校は、同一敷地に設置されたメリットを最大限に生かして交流及び共同学習を推進し、ふれあいを通じた豊かな人間性を育むとともに、社会におけるノーマライゼーションの理念を進展する礎となる学校をめざす。また、両校の実践を県内のみならず全国へ発信する。
D 学校評議員制度や高校生ふるさと貢献活動事業、特別支援学校交流・体験チャレンジ事業などを活用して伊丹市池尻地区や尼崎市西昆陽地区など、学校周辺の地域と連携した教育活動を推進し、また、近隣の幼稚園、小学校との幼小高連携を通して、地域に開かれた、地域に愛される学校をめざす。
E 「教育は人なり」という言葉があるように、両校の教職員は、教育の専門家としての使命感と高い倫理観を保持し、豊かな人間性の涵養に努める。また、専門性と実践的指導力の向上や、社会の変化に対応した教育観を培うことをめざして、研究と修養に努める。

阪神昆陽特別支援学校の教育目標
1 「働く人になる」という明確な意思を持ち、社会的・職業的自立を目指す生徒を育成する。
2 夢・希望・目標を掲げ、主体的に生活を営むことができる生徒を育成する。
特別支援学校の教育方針
1 安全安心に学べる学校
2 授業の充実、個別の指導計画の充実
(1)実態に応じたねらい・目標の明確化・見える化
(2)活動の前には「あて」と活動内容の具体化を示す
(3)個別の指導計画・個別の教育支援計画の充実
3 キャリア教育・就労支援の充実
4 合理的配慮の提供
5 インクルーブ教育システムの構築
(1)阪神昆陽高等学校の通級指導のサポート
(2)交流および共同学習の充実
(3)センターの機能としての役割：高等学校等の支援

評価点：十分に達成できた=4、概ね達成できた=3、あまり達成できなかった=2、達成できなかった=1

Table with 10 columns: 領域, 評価の観点, 実践目標, 行動目標, 担当部署, 関係する教育目標, 自己評価, 成果, 課題, 改善策. Rows include 円滑な学校運営, 勤務時間の適正化, 危機管理体制の整備, 生徒支援, 生徒指導, 進路指導, 授業等, 特別支援学校のセンター的機能の充実及び阪神昆陽高等学校との連携, 合理的配慮の提供と個別的教育的ニーズへの対応, キャリア教育の推進, 人権教育, 防災教育, 心と体の学習プロジェクト.